



やまもと 義一

山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

台風で農業に甚大な被害

農家が前を向ける支援を

安心して住めるふるさとづくりを注いでいる山本義一県議(八街市選出、4期)は12月定例県議会で一般質問に立ち、台風による被災者への支援策や損壊した施設の復旧、県立青少年教育施設の再編計画などについて県執行部に質しました。利用者の減少、施設の老朽化で東金青年の家が廃止の瀬戸際に立たされていますが、山本県議は「施設が廃止された地域の青少年健全育成が衰退することは必然的」として、方針の見直しを求めました。山本議員の質疑と県担当者の答弁を紹介します。

12月定例県議会一般質問

山本議員 台風15号・19号・21号の大規模災害で農林水産業は440億円を超える甚大な被害を受けた。私の地元の八街市においても、再建するにも多額の費用が必要となることから、農業経営を続ける気力を失った農家もいると聞いている。

農家が前を向くためには、農家の負担が少なく、出来るだけ速やかに施設が復旧できるような手厚い支援が必要である。

そこだろうか、被災した農林漁業者を応援するため、県産農林水産物の販売促進にどのように取り組んでいくのか。

知事 県では、市場などに向けて生育状況や出荷見込み等の産地情報を伝える

とともに、「がんばろう！千葉」キャンペーンの一環として、首都圏及び県内の量販店や直売所等に、のぼりなどの販促資材を提供し、県産農林水産物を販売するフェアの開催などを呼びかけています。

また、今後は、量販店の店頭で販売を行うスタッフの派遣人数や店舗数を増やすとともに、ホテルやレストランに対してもフェアの開催を呼びかけるなど、取り組みを強化します。

さらに、消費者に向けて、ラジオや雑誌、SNS等を活用した産地情報の発信や、レストランでの県産食材のPRなどを行い、被災した農林漁業者を応援するための販売促進に取り組んでまいります。

山本議員 販売促進の取り組みは継続することが重要なので、一時的なキャンペーンで終わることなく、引き続き、販売促進に取り組んでいくよう要望する。

畜産総合研究センター

施設倒壊などの被害

山本議員 畜産総合研究センターの台風被害と、その復旧に向けた取り組みはどうか。

農林水産部長 畜産総合研究センターでは、本市原乳牛研究所、嶺岡乳牛研究所の3か所全てにおいて、台風第15号などにより被害を受けました。

直接的な被害としては、飼料作物の倒伏、畜舎の屋根や窓の損壊、堆肥化施設の倒壊、倒木による電線の切断などがあり、主に飼料の栽培試験や、家畜の管理、堆肥生産などに影響が生じています。

さらに、停電の長期化による試験サンプルの廃棄、家畜の体調不良、測定機器の使用不能により、十分なデータが得られなかった研

究もあり、38の研究課題のうち、12について遅れなどの影響が生じています。

このため、まずは、復旧に必要な経費を12月補正予算案に計上したところです。県としては、速やかな施設の復旧と併せて、遅れが生じた研究については、試験期間の延長や試験頭数を増やすなどの工夫により、研究成果への影響を最小限に留めるよう取り組んでまいります。

このほか、窓枠破損により授業に支障がある場合は、教室を変更するなどの対応をしており、一日も早く通常の学校運営が行われるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

また、復旧までの間の措置として、学校生活への影響を最小限とするため、体育館の屋根の破損については、仮設屋根の設置を、校舎等の雨漏りについては、防水シートの部分補修を、法面の崩壊については、土留め対策等の応急工事を行ってるところです。

このほか、窓枠破損により授業に支障がある場合は、教室を変更するなどの対応をしており、一日も早く通常の学校運営が行われるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

県立学校149校 体育館などに被害

山本議員 県立学校施設の被害に対して、どのように対応していくのか。

教育長 このたびの台風等により県立学校149校

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください

山本よしかず 県議事務所

〒289-1116 八街市中央20-11
TEL.043(440)7070
FAX.043(440)7030

県立青少年教育施設の再編案

「東金青年の家」廃止方針

山本議員 千葉県行政

改革推進本部において、「公の施設の見直し方針」を決定し、青少年教育施設については、児童生徒数の減少、利用状況、施設の老朽化等を踏まえて、宿泊稼働率が最も低いことから、東金青年の家を廃止すると聞いている。

県内5つの県立青少年教育施設はバランスがとれた場所に位置しているが、東金青年の家が無くなると教育環境のバランスが崩れてしまう。

そこでかがうが、東金

青年の家の運営を継続してバランスの取れた教育環境を保つ考えはないのか。

教育長 平成28年7月に策定された「公の施設の見直し方針」において、「県立青少年教育施設の5施設体制を見直すこと」と示されたことから、これまでの間、社会情勢の変化や施設の利用実態等を踏まえた検討を進め、先月、千葉県生涯学習審議会に「県立青少年教育施設の再編構想(案)」を提示いたしました。

再編構想案では、森・海・

川・沼といった千葉県を代表する魅力的な自然を生か



議場の自席で再質問のための挙手をする山本県議

りながら、より充実したバランスのとれた青少年教育の環境を整えていくこととし、4施設を選択いたしました。

今後、生涯学習審議会から答申を得た後に、パブリックコメントを実施し、広く県民の意見をうかがった上で「県立青少年教育施設の再編構想」を策定してまいります。

県立青少年教育施設
宿泊稼働率30%切る

再質問
山本議員 教育施設として位置づけられているのなら、一概に利用人数の減少だけで施設の存続を問うのはいかがなものか。

教育長 県立の青少年教育施設においては、自然体験や宿泊体験など様々なプログラムの提供を通じて、多くの利用者に親しまれてきました。

千葉川上八街線八街市吉倉地先
変則交差点解消へ

山本議員 県道千葉川上八街線八街市吉倉地先における交差点改良の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県道千葉川上八街線の吉倉地先の

一方、過去10年間の5施設全体の宿泊稼働率が、例年30%以下と低迷している状況です。こういった状況を踏まえ、市町村の関連施設とのネットワークを強化しつつ、魅力的な自然を生かした機能に着目した再編を行うことで、引き続き、青少年教育を推進しようとするものです。

八街警察署新設を

要望
山本議員 八街市の市街地以外の地域では残念ながら事件・事故等が多く発生し、八街幹部交番が管轄する交通事故等の対応については、佐倉警察署との連携が必要となるケースもあり、対応時間を要する場合や警察官の負担が軽減されたとは言えない状況にある。

また、近年はパトカーによる市内巡回警戒や、危険箇所となる交差点などに警察官が直接現場に立ち、防犯活動を行っていたという姿が、防犯抑止力につながるものの、警察官の負担は増しているとも感じている。

そこで、以前から要望しているように、八街市全域の安全・安心を確保するためにも八街幹部交番の八街警察署への格上げを要望する。

青少年健全育成が衰退

要望

山本議員 少年

化、利用人数の減少、施設の老朽化を主な理由として、5施設を4施設にする計画は、私はいかなるものかと思う。

県域にバランス良く整備されており、青少年の研修、体験活動、子供会、スポーツ少年団など各種スポーツ・文化活動の場として活用されている。

平成24年12月に県社会教育委員会議で県立青少年教育施設の今後の在り方について諮問し、平成25年11月に地域の学校や社会

再編構想の見直しを

教育関係団体等にとってなくてはならない存在となっていることから、今後も5か所の県立青少年教育施設を維持発展させるべきである旨の答申が出されている。

また、生涯学習審議会の方にもほとんど同じ部分があるとも聞いている。そういった答申も出されているので、施設が廃止された地域の青少年健全育成が衰退することは必然的である。

今回の方針を見直して、青少年健全育成に取り組みれることを強く要望する。

豪雨で鉄道運休相次ぐ 的確な情報提供必要

山本議員 10月25日に

発生した豪雨により、総武本線をはじめ県内の鉄道にどのような影響が出たのか。

総合企画部長 10月25

日に発生した記録的な豪雨により、JR線の主要路線をはじめ、県内の多くの路線において、大規模な運休や遅延が生じたところです。

翌日には、多くの路線が運転を再開しましたが、総

武本線、久留里線、小湊

鉄道については、運転再開までに3日以上を要しており、小湊鉄道の一部区間では、現在も運休が続いている状況です。

こうした路線の運休が長引いた主な理由としては、豪雨の影響で、線路への土砂流入や路盤の流出、周辺道路の陥没などが発生し、

鉄道施設の復旧が難航した

ことが挙げられます。

山本議員 鉄道利用者や市町村に対して、運行情報等に関する的確な情報提供が必要と考えるがどうか。

総合企画部長 台風や豪雨などによる災害が激甚化する中、県民生活の安全・安心や利便性確保のためには、鉄道の運行状況等を分かりやすく、迅速に提供することが重要と考えて

います。

各鉄道事業者においては、ホームページやSNS等により、計画運休をはじめとした災害時の運行情報を提供しているところですが、情報提供のタイミングや内容について、課題はあるものと認識しています。

このため、県としては、JRをはじめ鉄道事業者に対して、運転再開の見通しや、運休の原因となっている被害や復旧作業の状況、代替交通手段の運行などについて、分かりやすく情報提供を行うよう、働きかけてまいります。

交差点は、県道の曲線部に2本の市道が接続し、信号のない変則的な交差点となっており、また、近接する小学校の通学路に指定されており、歩道幅員が狭い状況です。

このため円滑な交通と歩行者の安全を確保するため、現在、交差点改良を実施しており、これまでに予備設計を完了し、引き続き測量を行うこととしております。地元の皆様のご理解とご協力をいただきながら、事業の推進に努めてまいります。